

3. 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然環境(山、川、海)に恵まれた施設の立地条件を最大限に活かした事業を展開している。 ○施設作成のカレンダー、スポーツ合宿・遠足用のチラシを作成し、県外の関係機関にも送付するなど、幅広く情報発信している。 ○各市町村教育委員会への訪問や校長会に出席し、自然体験活動の必要性や各事業の情報提供を行い学校との連携に努めている。 ○高齢者や保育園児向けの主催事業を行い、地域の交流事業に取り組んでいる。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他の施設や指導者養成事業に参加し、所内では全職員で主催事業の企画・立案・評価を行う検討会を行い、職員の能力の向上につなげている。 ○利用者アンケートや活動中の情報収集により利用者の要望や改善点など、所内で課題を共有し早期対応に努めている。 ○利用者の研修目的を明確化するため、事前研修相談を充実させ、協働で計画し青少年の健全育成に向けた取り組みをしている。
③施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幡多青少年の家と一般財団法人大方青少年育成会が一体となって、共同して事業等に取り組んでいる。また、主催事業についても、全職員で実施案の検討会を行い、事前確認や情報共有化を行っている。 ○施設各部署の管理責任者のもと、定期的な安全点検を実施し、施設環境の整備を迅速に行っている。 ○リユース・リサイクルを目指し、職員が修繕作業にも取り組み、修繕費の節約に努めている。
④利用実績	<p>○平成25年度と比較して、宿泊者数は177名の増加であるが、体育館屋根修繕工事のため、体育館を11月～2月の3ヶ月半閉館したことも影響し、利用団体数は102団体の減少、利用者数は2,543名減少している。</p>
⑤収支の状況	<p>○宿泊者数が増加したことにより、平成25年度と比較して、使用料収入は171千円の増収となった。</p>
<p style="text-align: center;">総合評価</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> <p>○自然環境を活かした多様な事業展開を行い、利用拡大に向け各方面への啓発に努めているが、県内の利用者の拡大に向けこれまで以上に積極的に取り組むことを求める。</p> <p>○お互いにアイデアを出して事業の企画・立案をするなど、施設職員が一体となった運営と人材育成に取り組んでいる。</p> <p>○25年度から実現できていない新規プログラムの開発にむけて、年間を通じてできる海での活動や各種自然体験活動の団体や大学との連携など、施設やその周辺の自然環境を活かした魅力的な事業展開を期待する。</p> <p>○直営施設の担う役割を果たし、体験活動を通じて社会の中で生きていく力を育成する取り組みを期待する。</p>